

「日台体験型交流活動を通じた学びとは」ワークショップ

母語・地域性をふまえた日本語教育研究

●日時:2014年9月8日(月)15:00~17:30

●場所:東京外国語大学(TUFS)府中キャンパス
研究講義棟1階104室

発表者:人間環境大学名誉教授 文野峯子氏
東海大学助理教授(台湾) 工藤節子氏

今年で9年目を迎える日台体験型交流活動は、日本と台湾の大学生がコミュニケーションをすることで問題解決をしていく場が組み込まれた合宿形式の活動である。台湾の学生たちは日本語の上達を期待して参加するが、日本語に限らず学生たちの何かが変わる。日本の大学生も何かが大きく変わる。それは何か。そもそも言語の学びとは何か、をワークショップの参加者とともに議論したい。

15:00~15:30 活動の紹介(映像、概要説明)

15:30~16:00 学生の声の紹介

(PAC分析 台湾と日本の学生 各1名のデンドログラムとインタビュー発話)

16:00~16:10 休憩

16:10~17:10 ワールドカフェ形式の討論

①この活動は学生にとってどんな意味があるのか?

②「言語の学び」とは何か?

17:10~17:30 まとめ

国際日本語教育部門 : 小林幸江 望月圭子 佐野洋 鈴木美加 谷口龍子

《お問い合わせ》東京外国語大学 国際日本研究センター
電話: 042-330-5794 メール: info-icjs@tufts.ac.jp